

別紙 1 運動部活動の地域以降に向けた市原市の取り組み概要

1 これまでの取り組み

- ・ 令和 5 年度に有識者や地域スポーツ、学校、保護者等の関係者からなる「部活動の地域移行に係る検討会議」を設置し、段階的な休日部活動の地域移行を目指し本市に相応しい地域移行の形を協議・検討
- ・ 児童生徒、その保護者、教職員、市スポーツ協会加盟団体に対しアンケート調査を実施
- ・ アンケート結果から、「指導者の絶対数の不足」、「地域クラブ活動の要件の明確化」、「担い手となる指導者や受け皿となる地域クラブの不安解消の仕組みの必要性」を当面取り組むべき課題として整理

2 令和 6～7 年度の取組

① 市原市版の指導者育成スキームを作成

- ・ 専門知識を有する関係者(大学、弁護士、医師、栄養士、消防士、トップスポーツチームなど)からなる「スポーツ指導者の育成に係るプログラム等作成部会」を設置し、指導者育成スキームを作成
- ・ 指導者講習会を開催し、指導者の質の保障と量の確保の両面に取り組む

② 地域クラブ活動のモデルとなるスポーツ教室の開催

以下をねらいとして、地域クラブ活動の標準モデルを構築するためのスポーツ教室(令和 6 年度は剣道及びバレーボール)を開催。

- ・ ベースプログラムを受講した指導者候補者による指導実習
- ・ 生徒は学校区に限定されない広域での学校外活動(地域クラブ活動)を体験
- ・ 日々の地域クラブ活動運営の目安を示す標準運営マニュアルを作成

③ 総合的な支援体制の整備

指導者育成・地域クラブ創設に向けた支援、それらの認証基準・登録の要件整理、登録バンク(登録台帳)への登載事項、相談窓口の業務内容、フォローアップ支援(法律、スポーツ医科学、クラブ運営等のアドバイス)など、地域移行に向けて必要な一連のサービスを提供する総合的な支援体制を整備する。

3 今後のスケジュール

令和 6 年	9 月 16 日	指導者講習会(ベースプログラム)開催
	10 月～	剣道・バレーボールの指導者講習会(競技別プログラム)及びスポーツ教室開催
令和 7 年度		・ 屋外競技の指導者講習会(競技別プログラム)実施 ・ 地域クラブ活動認証・登録基準作成 ・ 指導者・地域クラブ活動登録バンク構築 ・ 相談窓口・フォローアップ等支援体制整備
令和 8 年度		休日部活動の順次移行開始

別紙2 9/16(月・休)ベースプログラムに関する講習会詳細

1 カリキュラム※各カリキュラム間で10分休憩

時間	内容
9:30～9:50	開講・オリエンテーション
9:50～10:40	【コーチングの理念・哲学】 コーチングを学ぶ必要性、プレーヤーとともに学び続けるコーチ 【対自分力】 コーチングの重要性、強いアスリートは心も強いのか？
10:50～12:00	【對他者力】 厳しい指導(恐怖による支配)の効果と副作用、コーチングを学ぶ
12:00～13:00	昼食・休憩
13:00～13:40	【スポーツと健康】 【スポーツと栄養】 成長期における食事のあり方、安心安全な食事を
13:50～14:30	【スポーツ医学】 腰椎分離症、オスグッド、疲労骨折、脳震盪、熱中症、 EAP（エマージェンシーアクションプラン）作成
14:40～15:20	【救急処置】 応急手当、心肺蘇生法、AEDを用いた除細動、止血・固定法
15:30～16:10	【トレーニング科学】 予防のためのコンディショニング
16:10～16:30	まとめ・閉講

2 講師詳細（スケジュール順）

No.	役職等	氏名	担当カリキュラム
1	帝京平成大学 健康医療スポーツ学部 医療スポーツ学科 体育・スポーツ経営学研究室 教授	馬場 宏輝	総括、ファシリテーター
2	虎ノ門法律経済事務所 市原支店 代表弁護士	石垣 祐一	コーチングの理念・哲学、対自分力、對他者力
3	市原市 子育てネウボラセンター ネウボラ第1係 副主査	富岡 真理子	スポーツと健康 スポーツと栄養
4	JSPO 公認スポーツドクター 千葉ろうさい病院 整形外科 副部長	守屋 拓朗	スポーツ医学
5	市原市 消防局 警防救急課 警防救急係 係長	小出 祥朗	救急処置
6	帝京平成大学 健康医療スポーツ学部 医療スポーツ学科 トレーナー・スポーツコース 助教	西山 朋	トレーニング科学